



2026年2月5日

各 位

会 社 名：株式会社シャノン
代表者名：代表取締役 CEO 山崎 浩史
(コード番号：3976 東証グロース)
問合せ先：執行役員 CFO 友清 学
(TEL：03-6743-1551)

通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、2026年2月5日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年12月12日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した2025年12月期通期連結累計期間（2024年11月～2025年12月）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2024年11月1日～2025年12月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 3,150	百万円 50	百万円 △10	百万円 △90	円 錢 △16.86
今回発表予想 (B)	3,208	123	68	△28	△5.24
増 減 額 (B - A)	58	73	78	62	—
増 減 率 (%)	1.8	146.0	—	—	—
(参考) 前期実績 (2024年10月期)	3,206	△51	△53	△101	△31.97

2. 当期の個別業績予想数値の修正（2024年11月1日～2025年12月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 3,140	百万円 △18	百万円 △99	円 錢 △18.54
今回発表予想 (B)	3,202	74	△22	△4.12
増 減 額 (B - A)	62	92	77	—
増 減 率 (%)	2.0	—	—	—
(参考) 前期実績 (2024年10月期)	3,032	△108	△192	△60.71

3. 修正の理由

(連結業績予想)

当社は現在「国産マーケティングオートメーション市場でのNo.1奪還」を掲げ、2025年12月期を過去の赤字経営から脱却し、営業損益の黒字転換を実現するための「事業再構築期」と位置付け邁進してまいりました。

その結果、事業再構築が奏功し、2025年12月12日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した通り、営業利益の黒字化予想および利益予想の引き上げを実現いたしました。一方で、経営体制の刷新に伴う財務体質の健全化に向け、過去の資金調達に関わる社債発行費の一括償却や、旧体制下で保有していた非事業用資産（役員付保険等）の整理を断行した結果、経常損益および親会社株主に帰属する当期純損益については、前回発表時点では赤字の見通しとなっていました。

今般、期末にかけて受注案件の納品が円滑に進捗したこと、徹底したコスト管理と運用（生産）効率の向上が寄与し、前回予想時には保守的に見て原価率が1%超改善する見込みであること、また、期末に向けて想定以上の受注もあり、期末仕掛け残高は想定よりも多くなったことを主要因として、営業利益は前回発表予想比で146%増益、さらに赤字予想であった経常損益についても黒字転換する見込みとなりました。これを受け、業績予想の更なる修正を決定いたしました。

主力事業であるマーケティングオートメーション（サブスクリプション）領域においては、新規獲得までのリードタイムが長期化する傾向にあるものの、市場環境を反映した当社想定通りの進捗を維持しております。

なお、進行期（2026年12月期）においては、新たな成長戦略に基づき、UIの刷新や新プラン（デジタルプラン）のリリースなど、市場シェア奪還に向けた具体的な事業アクションを既に開始しております。詳細については、本年2月13日発表予定の「2025年12月期 通期決算」にてご説明いたします。株主・投資家の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

(個別業績予想)

連結業績予想と同様の理由により、前回発表予想を修正いたしました。

(ご参考情報)

- ・ [シャノン、中堅・中小企業向け「デジタルプラン」を月額6万円から提供開始（2026年1月14日開示）](#)
- ・ [シャノン、MAツールを大幅リニューアル。「AI支援で迷わず使えるMA」を実現（2026年1月9日開示）](#)
- ・ [通期業績予想の修正に関するお知らせ（2025年12月12日開示）](#)
- ・ [サイボウズkintone×シャノン新プラン「シャキーン」をリリース 中堅・中小企業のDX推進を加速（2025年6月12日開示）](#)

以 上